

みんなに伝えたい  
**大発見!**



斎藤 絆広さん

操縦室は  
レバーがいっぱい!  
船を操る船長って  
かっこいい

福井にこんなに  
大きな港が  
あるなんて  
知らなかった



内田 風咲さん



福本 和真さん

生活に必要な  
エネルギーは  
船を使って  
運ばれます!

## 港の豆知識

### 船のお腹にある数字って どんな意味があるの?

この数字は船の底から水面までの垂直距離を示す喫水を表しています。「船が海底についてしまわないように」など、色々な場面で確認される重要な数字です。



### 石油を貯蔵するタンクって どのぐらいの大きさなの?

福井港で見学した貯蔵タンクは直径19m、高さ13mで、約3,600kLの石油が入ります。

もっと大きなタンクもあるんだって。数字が多すぎてイメージできないよね!



なんで? えっ?

海と港の秘密を解き明かせ!

## こども港調査隊の冒険に密着!

石油や石炭を運んできた大型タンカーを間近で見学できたり、実際に防災船に乗船できたり、エネルギーが集まる福井港の姿をじっくり観察できました。



スタート地点の  
港湾事務所に着



福井港は...

まずは福井港の特徴を勉強。  
みんなの表情は真剣そのもの。



港はスケールが  
大きいなあ!

港湾事務所の展望台へ。手前の車のサイズを基準にすると、タンカーや工場の大きさにびっくり!



石炭を運ぶ  
大型タンカー



貨物でいっぱいの港の中へ

タンカーって近くで見ると本当に大きい。自動車はロシアへ、鉄管やアルミは国内に運ばれるそう。



放水シーンも  
すごかった!



### 防災船「厳龍」に乗船

厳龍はタンカーよりずっと小さいけど、座礁した船を引っ張って救助したりと、とってもバワフル。



最後に調査報告書をまとめて終了! 暑い中、本当におつかれさま。認定証は大切にしてください。



石油をくみ取る  
専用設備  
"ドルフィン"

### 浚渫船&ドルフィンを間近で

海底の砂を取り除く浚渫船(左)の作業は大迫力。ドルフィン(右)はタンカーから直接石油を吸い上げる装置なんだって。

ビックリ スゴイ!

日本海のみなと大発見

こども港調査隊報告書②

## 地域を見守るエネルギー基地

# 福井港 (福井県)

福井県

福井県の中で、敦賀港に次いで2番目に大きな港です。自動車を動かすのに必要なガソリンや発電の燃料になる石炭など生活に欠かせないエネルギーを中心に扱う重要な港なんです。

### こんな港! 3つのまとめ

- 2018年で開港から40周年!
- 地域を守り続けるエネルギー基地
- 全国消費量の約6日分の原油を蓄えている

### 役割・特徴



## エネルギーが集まる工業港



福井県の中で2番目に大きい港でガソリンや重油、石炭など、毎日の暮らしに欠かせないエネルギーが集まります。実は福井県内で使われるガソリンの70%が、福井港を窓口にして輸入されるそう! 福井港がなかったら自動車は動かない!?



調査時には、ちょうど石炭や石油を運ぶための大型タンカーが停泊していました。

### 働く人々



## 防災船に乗って港を守る!



たくさんのエネルギーを扱う福井港には、万が一に備えて消火ポンプを積んだ防災船があります。防災船の乗組員は港を守る訓練をしながら、普段は海外からやってくる大型タンカーの入港を誘導したり、手伝ったりしています。



防災船「厳龍」には、海に落ちた人を助ける装置も。港や人命を守るために働いています。

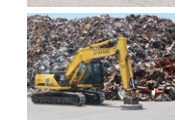
### 集まる・運ぶ物



## アルミや鉄など資源が中心



福井港の取り扱われる貨物の約40%がガソリン。ほかにも重油や石炭、アルミやセメント、鉄くずなどの資源がいっぱい。アルミは缶ジュースの缶になったり、重油は発電所に運ばれて発電に使われたり、私たちの生活を支えています。



山のように積み重ねられた鉄くず。ゴミのように見えますが、海外に輸出されます。

### 暮らす・遊ぶために



## 港の砂をすくって再利用



九頭竜川の河口にある福井港は、山の土砂がどんどん流れ込み、放っておくと水深が浅くなって大きな船が入港できなくなってしまいます。そこで、海中の土砂を取り除く専用船「浚渫船」を使い、定期的に砂を取り除く作業をしています。



取り除いた砂は天日干しで塩を抜いてから、コンクリートの原料などに再利用しています。